

在宅医療・介護連携についてのアンケート

発送数：251 回答枚数：217（回答施設数190） 回答率：86.5%（75.7%）

松山市で在宅療養をされている高齢者の支援において、在宅医療と介護の連携を考えた場合についてお尋ねします。該当するものに☑を入れて下さい。

1. 医療依存度の高い在宅患者（末期がん、胃瘻、膀胱瘻・腎瘻、人工肛門、在宅酸素、人工呼吸器、尿道カテーテル、褥瘡、経管栄養、腹膜透析 等）を担当したことがありますか。

	件数	割合 (%)
ある	195	90.7
ない	20	9.3

2. 現在、担当している利用者のうち、在宅医療（往診や訪問診療）を受けている方はいますか。

	件数	割合 (%)
いる	179	84.0
いない	34	16.0

在宅医療（往診や訪問診療）を受けている方の割合

1割以下	1～2割	2～3割	4～5割	5～7割	8割以上
81 56.6%	30 21.0%	9 6.3%	8 5.6%	6 4.2%	9 6.3%

3. ご自身の所属する事業所、関連法人の中に医療機関はありますか。

※あると答えた方は、関連法人の医療機関以外との連携を想定して、以下をお答えください。

	件数	割合 (%)
ある	77	36.5
ない	134	63.5

4. 在宅で医療と介護を必要としている高齢者の支援における、在宅医療と介護の連携について、現在、在宅医療や介護に関わる多職種との連携はうまく取れていると思いますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
取れている	24	11.4
概ね取れている	145	68.7
あまり取れていない	38	18.0
取れていない	4	1.9

5. よく連携が取れていると感じている事業所、職種を上げて下さい。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)

	件数	割合 (%)
医師 (病院、診療所)	74	12.9
歯科医師 (歯科診療所)	22	3.8
薬剤師 (調剤薬局)	32	5.6
看護師 (病院、診療所)	72	12.6
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士 (病院、診療所)	101	17.6
歯科衛生士	2	0.3
管理栄養士	1	0.2
ケアマネジャー (居宅介護支援事業所)	25	4.4
介護職 (デイサービス)	85	14.8
介護職 (ヘルパー)	95	16.6
地域包括支援センター職員	45	7.9
その他 (訪問看護、訪問リハ、サ高住スタッフ、福祉用具事業者)	14	2.4
なし	5	0.9

6. 連携が取りにくいと感じている事業所、職種を上げて下さい。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)

	件数	割合 (%)
医師 (病院、診療所)	135	28.5
歯科医師 (歯科診療所)	73	15.4
薬剤師 (調剤薬局)	57	12.1
看護師 (病院、診療所)	50	10.6
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士 (病院、診療所)	30	6.3
歯科衛生士	27	5.7
管理栄養士	40	8.5
ケアマネジャー (居宅介護支援事業所)	7	1.5
介護職 (デイサービス)	12	2.5
介護職 (ヘルパー)	7	1.5
地域包括支援センター職員	12	2.5
その他 (事業所による、人による。サ高住スタッフ。)	4	0.8
なし	19	4.0

7. 今後、更に連携を強化していく必要があると思われる事業所、職種を上げて下さい。
(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な職種や機関名を記入して下さい。)

	件数	割合 (%)
医師 (病院、診療所)	168	30.2
歯科医師 (歯科診療所)	43	7.7
薬剤師 (調剤薬局)	59	10.6
看護師 (病院、診療所)	94	16.9
医療ソーシャルワーカー、社会福祉士 (病院、診療所)	87	15.6
歯科衛生士	6	1.1
管理栄養士	13	2.3
ケアマネジャー (居宅介護支援事業所)	14	2.5
介護職 (デイサービス)	5	0.9
介護職 (ヘルパー)	14	2.5
地域包括支援センター職員	42	7.5
その他 (訪問看護。かかりつけ医)	3	0.5
なし	9	1.6

8. 多職種間の連携がうまくいくには何が必要と思われますか。(上位3つまで。選択肢に適切なものが無い場合は、「その他」に具体的な内容を記入して下さい。)

	件数	割合 (%)
職種間の専門性や置かれている状況の理解	146	25.2
患者(利用者)情報の共有	141	24.3
役割分担の明確化	80	13.8
連携コーディネーターの存在	63	10.9
連携窓口の設置	57	9.8
サービス担当者会議の開催	34	5.9
患者(利用者)及び家族の理解	55	9.5
その他 (人員の余裕。医師との適切な関係作り。ケアマネジャーの積極的行動。連携の方法のルーチン化、意見をいただく書式の統一。)	4	0.7

9. 多職種との連携において、最も有効と思われるツールを一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
共通の連携シート (紙媒体)	135	67.2
ICTによる情報共有ツール	44	21.9
お薬手帳のような個人で持つ情報シート (ノート)	21	10.4
その他	1	0.5

10. 多職種との連携、連絡に普段活用している手段は何ですか。(複数回答可)

	件数	割合 (%)
電話	210	44.2
FAX	118	24.8
メール	29	6.1
面談	115	24.2
その他 (手紙。訪問時に伺う。利)	3	0.6

用者情報（紙ベース）を本院に渡し、担当医等への連絡としている。）		
----------------------------------	--	--

1 1. 多職種間の連携が特にうまくいっていない場面はどこですか。（複数回答可）

	件数	割合（％）
日常の療養支援	77	27.6
入院時	47	16.8
退院時	55	19.7
急変時	80	28.7
看取り	20	7.2

1 2. 医療機関や医療職との連携についてお尋ねします。どれくらい連携が図れていると思いますか、一つ選んでください。

①連携室のある医療機関との連携について

	件数	割合（％）
とてもよく取れている	25	11.7
取れている	162	75.7
あまり取れていない	27	12.8
取れていない	0	—

②連携室の無い医療機関との連携について

	件数	割合（％）
とてもよく取れている	0	—
取れている	36	16.8
あまり取れていない	150	70.1
取れていない	28	13.1

③在宅医療（往診や訪問診療）を実施している医師との連携について

	件数	割合（％）
とてもよく取れている	25	11.7
取れている	135	63.4
あまり取れていない	48	22.5
取れていない	5	2.3

④在宅医療（往診や訪問診療）を実施していない医師との連携について

	件数	割合（％）
とてもよく取れている	31	14.6
取れている	152	71.7
あまり取れていない	29	13.7
取れていない	0	—

⑤歯科医師との連携について

	件数	割合（％）
とてもよく取れている	4	1.9
取れている	53	24.9
あまり取れていない	116	54.5
取れていない	40	18.8

⑥薬剤師との連携について

	件数	割合 (%)
とてもよく取れている	5	2.3
取れている	71	33.3
あまり取れていない	103	48.4
取れていない	34	16.0

13. 日常の療養生活について

①主治医への関わりはどの程度されていますか、一つ選んでください。

・申請時の相談

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	56	26.2
ほとんどの利用者に行っている	99	46.3
あまり行っていない	55	25.7
していない	4	1.9

・主治医意見書作成への情報提供

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	49	22.9
ほとんどの利用者に行っている	65	30.4
あまり行っていない	97	45.3
していない	3	1.4

・サービス担当者会議への出席依頼

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	19	8.9
ほとんどの利用者に行っている	34	16.0
あまり行っていない	130	61.0
していない	30	14.1

・入退院時の連絡

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	58	26.9
ほとんどの利用者に行っている	103	47.7
あまり行っていない	46	21.3
していない	9	4.2

・通院時同席

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	13	6.1
ほとんどの利用者に行っている	53	24.8
あまり行っていない	137	64.0
していない	11	5.1

・ 居宅サービス計画書を渡す

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	62	28.8
ほとんどの利用者に行っている	29	13.5
あまり行っていない	88	40.9
していない	36	16.7

・ 生活の様子、家族状況などの情報提供

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	36	16.7
ほとんどの利用者に行っている	60	27.9
あまり行っていない	109	50.7
していない	10	4.7

・ 診療情報を受け取っているか

	件数	割合 (%)
訪問診療が入っているほぼ全員の利用者	131	64.2
訪問診療が入っているほぼ半数の利用者	35	17.2
ほとんど受け取っていない	29	14.2
受け取っていない	9	4.4

② 歯科医師との関わりについて、一つ選んでください。

・ サービス担当者会議への出席依頼

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	2	1.0
ほとんどの利用者に行っている	6	2.9
あまり行っていない	80	39.0
していない	117	57.1

・ 入退院時の連絡

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	24	11.6
ほとんどの利用者に行っている	25	12.1
あまり行っていない	58	28.0
していない	100	48.3

・ 診療時の同席

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	6	2.9
ほとんどの利用者に行っている	23	11.1
あまり行っていない	88	42.5
していない	90	43.5

・ 居宅サービス計画書を渡す

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	18	8.7
ほとんどの利用者に行っている	12	5.8
あまり行っていない	59	28.6
していない	117	56.8

・生活の様子、家族状況などの情報提供

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	19	9.3
ほとんどの利用者に行っている	25	12.3
あまり行っていない	81	39.7
していない	79	38.7

・診療情報を受け取っているか

	件数	割合 (%)
訪問診療が入っているほぼ全員の利用者	80	38.6
訪問診療が入っているほぼ半数の利用者	27	13.0
ほとんど受け取っていない	38	18.4
受け取っていない	62	30.0

③薬剤師との関わりについて、一つ選んでください。

・サービス担当者会議への出席依頼

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	5	2.4
ほとんどの利用者に行っている	16	7.7
あまり行っていない	78	37.5
していない	109	52.4

・入退院時の連絡

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	20	9.7
ほとんどの利用者に行っている	20	9.7
あまり行っていない	68	33.3
していない	98	47.6

・薬受け取り時の同席

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	5	2.4
ほとんどの利用者に行っている	18	8.7
あまり行っていない	83	40.1
していない	101	48.8

・居宅サービス計画書を渡す

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	18	8.7
ほとんどの利用者に行っている	15	7.2
あまり行っていない	64	30.9
していない	110	53.1

・生活の様子、家族状況などの情報提供

	件数	割合 (%)
すべての利用者に行っている	13	6.3
ほとんどの利用者に行っている	26	12.6
あまり行っていない	88	42.5
していない	80	38.6

- ・薬に関する訪問情報を受け取っているか

	件数	割合 (%)
訪問診療が入っているほぼ全員の利用者	92	45.1
訪問診療が入っているほぼ半数の利用者	26	12.7
ほとんど受け取っていない	30	14.7
受け取っていない	56	27.5

14. 入退院時、入院施設との連携について、一つ選んでください。

- ・在宅情報を書面にて提供している

	件数	割合 (%)
ほとんどの利用者に行うようにしている	116	55.5
半分程度の利用者に行っている	49	23.4
ほとんどしていない	37	17.7
していない	7	3.3

- ・入院施設に面会に行き、経過情報を取得している

	件数	割合 (%)
ほとんどの利用者に行うようにしている	157	75.1
半分程度の利用者に行っている	38	18.2
ほとんどしていない	13	6.2
していない	1	0.5

- ・退院前カンファレンスを依頼している

	件数	割合 (%)
ほとんどの利用者に行うようにしている	124	57.7
半分程度の利用者に行っている	74	34.4
ほとんどしていない	14	6.5
していない	3	1.4

- ・入院施設からカンファレンスの出席依頼があれば参加している

	件数	割合 (%)
ほとんどの利用者に行うようにしている	204	94.4
半分程度の利用者に行っている	7	3.2
ほとんどしていない	2	0.9
していない	3	1.4

- ・退院後の居宅サービス計画を渡している

	件数	割合 (%)
ほとんどの利用者に行うようにしている	72	34.1
半分程度の利用者に行っている	64	30.3
ほとんどしていない	49	23.2
していない	26	12.3

15. 医療依存度の高い利用者あるいは難病等の利用者の在宅支援の課題は何だと思いませんか。
(複数回答可)

	件数	割合 (%)
レスパイトの入院先がない	118	20.6
ショートを受け入れ先がない、あるいは制限がある	130	22.7
ショートや入院がタイムリーに利用できない	126	22.0
受け入れてくれるデイが少ない	41	7.2
受け入れてくれるヘルパー事業所が少ない	33	5.8
受け入れてくれる訪問医療が少ない	20	3.5
介護支援専門員の知識、力量不足	90	15.7
その他(※)	5	0.9
特になし	9	1.6

- ※家族間との関わりが難しい。家族間でキーパーソンが変化する場合は連携がとりにくい。
 ※家族指導が重要！家族の介護力があれば、在宅でも医療処置が家族で行えるのと経済的にもある程度ゆとりが必要！。
 ※レスパイト少ない。夜間痰吸引のできるショート、施設がほしい。
 ※小規模多機能の連泊利用中に訪問診療や訪問看護が利用できない。

16. 医療依存度の高い利用者が、在宅で体調が急変した場合の対応について、主治医や訪問看護等と情報共有し連携できる体制が取れていますか、一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
取れている	40	19.4
概ね取れている	152	73.8
あまり取れていない	10	4.9
取れていない	4	1.9

- ②①で「あまり取れていない・取れていない」と答えた方、取れていない理由は何だと思いませんか。
- ・担当者会議は開催しても急変時まで詰めて話しができていない。
 - ・病院の協力が得られない。
 - ・病院が休みの時は救急を使う方法しかない。
 - ・こちらから連絡することがなく、遠慮もあるため。
 - ・現在医療依存度の高い利用者がない。ただし疾患により急変した時の対応は決定している。
 - ・家族が対応することが多い。
 - ・他の主治医ではない。関連法人の医療機関の場合は概ねとれている。
 - ・医療依存度の高い利用者は泊まり利用が多く、訪問看護など利用していない。
 - ・対象者がいない為、今後、対象者が利用される場合もあるので考えていきたい。

17. 在宅での看取りを希望する利用者に対する、医療と介護の連携についてお尋ねします。

- ①在宅での看取りに関わった経験はありますか

	件数	割合 (%)
ある	165	78.6
ない	45	21.4

- ②①で「ある」と答えた方へ、看取り場面において医療と介護の連携はうまく取れていますか。一つ選んでください。

	件数	割合 (%)
とてもそう思う	40	24.2
そう思う	109	66.1
あまり思わない	15	9.1
思わない	1	0.6

③②で「あまり思わない・思わない」と答えた方へ、取れていない理由は何だと思えますか。
(複数回答可)

	件数	割合 (%)
展開が急な場合が多く、医療だけで運ぶことがほとんどである	16	61.5
看取りに関する医療知識や経験が乏しい	8	30.8
その他 (※)	2	2.7

※家族に理解してもらうのに時間がかかり手間取る。

※基礎資格が介護系のケアマネジャーだとできることが限られてくる。連絡は確かに必要だが、そこを強く求めるのであれば、基礎資格は看護師にしなければならないと思う。

18. 医療と介護が連携できるよう、今後、ご自身が身に付けたい知識や受講したい研修等について
(複数回答可)

	件数	割合 (%)
在宅医療に関する内容	166	33.3
看取りに関する内容	137	27.5
口腔ケアに関する内容	44	8.8
薬剤に関する内容	83	16.7
リハビリに関する内容	58	11.6
その他 (※)	10	2.0

※事例検討会。

※制度等の内容。

※認知症、精神疾患。

※多職種の連絡に関する事。

※サービス担当者会議。

※難病を抱える家族理解。

※介護保険と医療保険の併用について、ケース毎とその解答についての研修。

※担当地区での連携の実際の方法について。

※家族へ、または家族がすべき研修があれば。在宅医療の法的な制度について。

※訪問診療ではない医師の意見が聴ける研修。